

施策番号	2321		
施策名	都市内の交通網の整備		
概要	「歩くまち・京都」の考え方を踏まえ、安全・快適な歩行空間を確保するとともに、公共交通機関や自転車の利用しやすい条件を整備し、自動車交通に過度に依存しない公共交通優先型の歩くまちを目指した交通網を整備する。		
担当局	建設局	共管局	都市計画局
上位政策	232 多様な都市活動を支える交通基盤づくり		

施策の評価

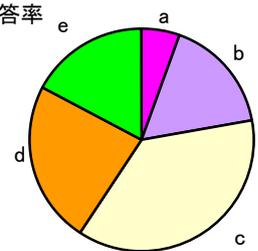
1 客観指標評価

	19年度	20年度	21年度評価				
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 道路延長規格改良率 (%)	c	c	58.8	59.0	80.0	73.8%	c
2 自転車等駐車場の収容台数 (台)	b	a	44,529	45,330	43,361	102.7%	a
3 自転車等駐車場の設置箇所数 (箇所)	a	a	90	96	78	123.0%	a
4 都市型レンタサイクルの設置台数 (台)	c	c	570	570	627	90.9%	c
5 バリアフリー全体構想に基づき事業を着手した旅客施設数の割合 (%)	b	a	53.2	53.2	53.2	100.0%	a
6 -	-	-	-	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-	-	-	-
9 -	-	-	-	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-	-	-	-
	b	a	客観指標総合評価				a

2 市民生活実感評価

設問	市内の道路は安全・快適である。					
回答	19		20		21	
	回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
a: そう思う	12	2.5%	29	3.9%	34	5.5%
b: どちらかというと思う	66	13.9%	159	21.2%	103	16.7%
c: どちらとも言えない	135	28.4%	234	31.2%	228	37.0%
d: どちらかというと思わない	139	29.2%	185	24.7%	145	23.5%
e: そう思わない	124	26.1%	143	19.1%	106	17.2%
有効回答数	476		750		616	
市民生活実感評価	d		d		d	

21回答率



- a: そう思う
- b: どちらかというと思う
- c: どちらとも言えない
- d: どちらかというと思わない
- e: そう思わない

- * この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。
- * 施策1344とは取組事項が類似することから、同じ客観指標等を使用して評価（一括評価）しています。

3 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感評価）

	19	20	21
客観指標総合評価	b	a	a
市民生活実感評価	d	d	d
総合評価	C	C	C
重み付け	(理由)		
<input type="checkbox"/> 客観指標	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	この施策は、市民生活の充実感及び満足感を高めることが目的であるので、市民生活実感評価を重視する。	

4 原因分析・今後の方向性 ※客観指標総合評価，市民生活実感評価，事務事業評価の結果等を踏まえて記入

- ・総合評価は、昨年度に引続き、C評価となった。
- ・客観指標総合評価についてはa評価から変動はない。これは、「自転車等駐車場の収用台数」と「バリアフリー全体構想に基づき事業を着手した旅客施設数の割合」が高い数値を維持していることによる。
- 一方、市民生活実感評価については、昨年度と同様d評価となっている。
- ・今後とも、安全な歩行空間及び自転車利用環境の整備を推進していく。また、これらの取組を市民の皆様にも広くお知らせすることで、市民生活実感評価の向上を図る。

(参考) この施策を実現するための事務事業

	事業名	20年度予算 (千円)*	21年度予算 (千円)*	20年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当局
(従)	1 I・Ⅲ・49久世梅津北野線(桂川橋梁)	10,997	10,390	現状のまま継続	建設局
(従)	2 II・Ⅲ・4 1 西小路通(阪急立体交差)	2,055	2,055	現状のまま継続	建設局
(従)	3 II・Ⅱ・2 8 大津宇治線	6,054	7,762	現状のまま継続	建設局
(従)	4 II・Ⅱ・2 9 桃山石田線	6,054	2,762	現状のまま継続	建設局
(従)	5 I・Ⅲ・4 5 羽東師墨染線	5,306	4,806	現状のまま継続	建設局
(従)	6 I・Ⅲ・4 8 吉祥院下鳥羽線	8,762	7,072	現状のまま継続	建設局
(従)	7 I・Ⅲ・1 4 葛野大路(太子道～丸太町通)	7,262	9,040	現状のまま継続	建設局
(従)	8 II・Ⅲ・1 9 北泉通	5,262	14,354	現状のまま継続	建設局
	9 深草疏水通整備事業	14,570	14,570	現状のまま継続	建設局
(従)	10 道路附属物自転車等駐車場	227,997	251,463	現状のまま継続	建設局
(従)	11 京都市自転車等駐車場条例に基づく自転車等駐車場	17,726	16,941	現状のまま継続	建設局
	12 市営駐車場	228,298	215,200	現状のまま継続	建設局
	13 京都市鴨東駐車場	0	0	現状のまま継続	建設局
	14 京都市出町駐車場	90,825	69,539	現状のまま継続	建設局
	15 京都市御池駐車場	183,325	181,553	現状のまま継続	建設局
(従)	16 3・3・1 3 2 向日町上鳥羽線	96,090	191,505	現状のまま継続	建設局
(従)	17 I・Ⅱ・3 伏見向日町線	336,134	125,724	現状のまま継続	建設局
(従)	18 3・3・6 石見下海印寺線	539	1,528	現状のまま継続	建設局
(従)	19 3・3・5 中山石見線	170,991	133,116	現状のまま継続	建設局
(従)	20 3・3・128 久世北茶屋線	769,437	238,558	現状のまま継続	建設局
(従)	21 葛野西通	549,051	127,421	現状のまま継続	建設局
(従)	22 3・5・1 3 5 大原通	214,228	5,761	現状のまま継続	建設局
(従)	23 JR東海道本線新駅関連公共施設	1,193,954	0	終了	建設局
(従)	24 II・Ⅲ・7 1 国鉄嵯峨駅北通	488,404	0	終了	建設局
(従)	25 II・Ⅱ・12 御陵六地藏線(第三工区)	10,747	11,179	現状のまま継続	建設局
(従)	26 I・I・1 八条通	10,423	0	終了	建設局
	27 小川通の整備	128,013	3,373	現状のまま継続	建設局
(従)	28 3・5・1 1 6 山陰街道	12,367	10,749	現状のまま継続	建設局
(従)	29 羽東師橋関連道路他	116,032	42,761	現状のまま継続	建設局
(従)	30 II・Ⅲ・4 1 西小路通	151,566	6,848	現状のまま継続	建設局
	合計	5,062,466	1,706,031		
	うち、主たる事業の合計 (従たる事業の合計)	645,031 (4,417,436)	484,235 (1,221,796)		

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

施策名	2321	都市内の交通網の整備
-----	------	------------

指標名	道路延長規格改良率（％）
-----	--------------

担当課	道路明示課	連絡先	222-3566
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

道路の規格に基づいて、改良が完成している道路延長の割合

2 指標の意味

市内の道路整備状況を示す指標

3 算出方法・出典等

規格改良済道路延長÷全市道路延長（各年度末）

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	19年度	20年度		数値	根拠	達成度
数値	58.8	59.0	0.2ポイント増	80.0	改良率80%を目標値として設定	73.8%

数値	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
-	-	-	-	-	-

備考	
----	--

5 評価基準

最新の数値が、
a：80%以上
b：60%以上80%未満
c：40%以上60%未満
d：20%以上40%未満
e：20%未満

6 基準説明

aからeまでを均等に20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

19	20	21
C	C	C

※ 施策1344とは取組事項が類似することから、同じ客観指標等を使用して評価（一括評価）しています。

指標名	自転車等駐車場の収容台数（台）
-----	-----------------

担当課	自転車政策課	連絡先	222-3565
-----	--------	-----	----------

1 指標の説明

市内における主要自転車等駐車場の収容台数（累計）

2 指標の意味

市内の自転車等駐車場にどのくらい自転車等が駐車できるかを示す指標

3 算出方法・出典等

各自転車等駐車場の収容台数の総数

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	19年度	20年度		数値	根拠	達成度
数値	44,529	45,330	801台増加	41,561	京都市自転車総合計画	109.0%

数値	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
-	-	43,361	22年度	102.7%	「京都市自転車総合計画」に掲示

備考	-
----	---

5 評価基準

中長期目標に対する達成度が
a：100%以上
b：80%以上100%未満
c：60%以上80%未満
d：40%以上60%未満
e：40%未満

6 基準説明

100%以上の達成をaとし、等間隔に基準を設定した。

7 評価結果

19	20	21
b	a	a

施策名	2321	都市内の交通網の整備
-----	------	------------

指標名	自転車等駐車場の設置箇所数（箇所）
-----	-------------------

担当課	自転車政策課	連絡先	2 2 2 - 3 5 6 5
-----	--------	-----	-----------------

1 指標の説明
市内における主要自転車等駐車場の設置箇所数（累計）

2 指標の意味
市民が利用できる自転車等駐車場が市内にどれくらいあるかを示す指標

3 算出方法・出典等
市営自転車等駐車場，市内鉄道駅周辺及び都心部に設置されている自転車等駐車場の総数

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	19年度	20年度		数値	根拠	達成度
数値	90	96	11箇所増	78	京都市自転車総合計画	123.0%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	78	22年度	115.3%	「京都市自転車総合計画」に掲示

5 評価基準
中長期目標に対する達成度が
a：100%以上
b：80%以上100%未満
c：60%以上80%未満
d：40%以上60%未満
e：40%未満

6 基準説明
100%以上の達成をaとし，等間隔に基準を設定した。

7 評価結果

19	20	21
a	a	a

※ 施策1344とは取組事項が類似することから，同じ客観指標等を使用して評価（一括評価）しています。

指標名	都市型レンタサイクルの設置台数（台）
-----	--------------------

担当課	自転車政策課	連絡先	2 2 2 - 3 5 6 5
-----	--------	-----	-----------------

1 指標の説明
市内における都市型レンタサイクルの設置台数（累計）

2 指標の意味
市民のレンタサイクルの利用可能台数がどのくらいかを示す指標

3 算出方法・出典等
都市型レンタサイクルの総台数

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	19年度	20年度		数値	根拠	達成度
数値	570	570	変化なし	627	前年度×10%増	90.9%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値					

5 評価基準
単年度目標に対する達成度が
a：100%以上
b：95%以上100%未満
c：85%以上95%未満
d：80%以上85%未満
e：80%未満

6 基準説明
100%以上の達成をa評価とし，各基準を設定した。

7 評価結果

19	20	21
C	C	C

施策名	2321	都市内の交通網の整備
-----	------	------------

指標名	バリアフリー全体構想に基づき事業を着手した旅客施設数の割合（％）
-----	----------------------------------

担当課	歩くまち京都推進室	連絡先	222-3483
-----	-----------	-----	----------

1 指標の説明

平成14年に策定された「京都市交通バリアフリー全体構想」で選定した14の重点整備地区及び重点整備地区選定の対象となった地区において、バリアフリー化が必要とされる旅客施設のうち、地区移動円滑化基本構想策定に着手した施設の割合。

2 指標の意味

すべての人にやさしい駅として、バリアフリー化される施設整備の進ちょく状況を示す指標。

3 算出方法・出典等

地区移動円滑化基本構想策定着手施設数÷対象旅客施設数×100

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	19年度	20年度		数値	根拠	達成度
数値	53.2	53.2	増減なし	53.2	対象となる旅客施設(47)のうち、地区移動円滑化基本構想策定に着手する旅客施設(25)の割合	100.0%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	53.2	22年	100.0%	対象となる旅客施設(47)のうち、地区移動円滑化基本構想策定に着手する旅客施設(25)の割合

備考	整備対象地区数 14地区
----	--------------

5 評価基準

地区移動円滑化基本構想策定着手割合が
a : 53%以上
b : 40%以上53%未満
c : 30%以上40%未満
d : 20%以上30%未満
e : 20%未満

6 基準説明

母数となる旅客施設のうち、地区移動円滑化基本構想策定に着手する旅客施設が占める割合（53%）をaとし、以下10%単位で基準設定した。
平成17年度 地区移動円滑化基本構想策定着手施設数 17, 対象施設数 47
平成18年度 地区移動円滑化基本構想策定着手施設数 21, 対象施設数 47
平成19年度 地区移動円滑化基本構想策定着手施設数 25, 対象施設数 47
平成20年度 地区移動円滑化基本構想策定着手施設数 25, 対象施設数 47

7 評価結果

19	20	21
b	a	a